



PlayBackMail

ホツと LookPlus

単体版

ユーザー・管理者ガイド

ご注意

本マニュアルの著作権は、SCSK Minori ソリューションズ株式会社にあります。
本ソフトウェアの著作権は、SCSK Minori ソリューションズ株式会社にあります。
本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
本ソフトウェアおよびマニュアルは本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
本ソフトウェアおよびマニュアルに記載されている事柄は将来予告なしに変更することがあります。

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) により開発されたソフトウェアが含まれています。

この文書は日本で印刷されました。

改訂履歴

Ver.	更新日	更新内容および主旨	更新範囲
1.0	2023/12/25	新規作成	すべて
1.1	2024/5/21	Ver2.0.4 変更内容記載	2.3

本書の読み方

本書では説明する内容によって、以下の表記を使用しています。

表記方法	説明
 注意・  重要	操作するときの注意点や重要な点を記載しています。
 補足・  ポイント	説明事項の補足やポイントを記載しています。
[]	ボタン、タブ、リンクの名称の表記で使用します。
「 」	メニュー、画面、項目名、参照先の表記で使用します。

1. はじめに	6
1.1 本書の内容及び目的	6
1.2 クライアント システム要件	6
1.2.1 添付ファイルの暗号化機能	7
1.2.2 .NET Framework のインストール確認	7
2. 管理者用の機能	10
2.1 個別情報設定ツール	10
2.2 設定制限解除	15
2.3 アンインストール	16
3. インストール手順	19
3.1 インストール	19
3.2 起動	22
4. ホット LookPlus の設定	23
4.1 設定画面の表示方法	23
4.2 表示倍率の設定	24
4.3 ホット LookPlus の有効化／無効化	24
4.4 宛先個別チェックの有効化／無効化	25
4.5 フォントサイズの設定	26
4.6 社内ドメインの設定	26
4.7 自動 CC／BCC 設定	28
4.8 設定制限解除	29
4.9 設定制限解除のリセット	30
5. メール送信時の宛先確認	31
5.1 宛先の確認	31
5.2 宛先の削除	34
5.3 宛先の復元	35
5.4 最終確認	37
6. ログの確認	38
7. 困ったときには	40
7.1 インストールは完了したが、アドインが表示されない	40

1. はじめに

1.1 本書の内容及び目的

本書は、「ホツと LookPlus」を利用するユーザーと管理者のためのドキュメントです。
インストーラーのカスタマイズ、画面の機能、操作方法などについて説明します。

※ 本書中の画像は、Windows 10 Version 22H2, Outlook 2021 バージョン 2309 の環境で取得しています。

1.2 クライアント システム要件

対応 OS は以下の通りです。

- Windows 11 Version 22H2 まで (64Bit のみ)
- Windows 10 Version 22H2 まで (32Bit/64Bit いずれも可)

対応メーカーは以下の通りです。

- Microsoft 365 Apps バージョン 2302 まで
 - Outlook 2016 / 2019 /2021
- ※ 32Bit/64Bit いずれも可

必須プログラムは以下の通りです。

- .NET Framework 4.8.1 以上

1.2.1 必要なソフトウェア

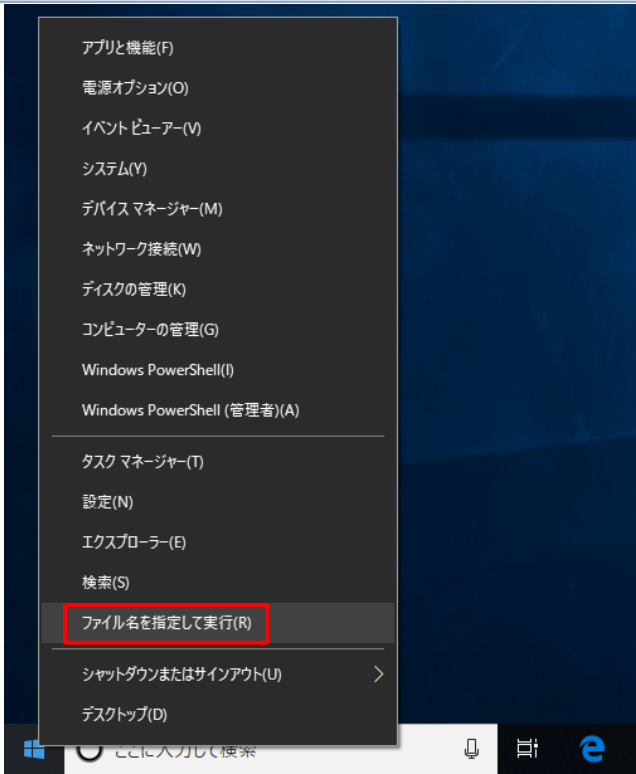
下記のプログラムのインストールが必須になります。

- .NET Framework 4.8.1 以上 ランタイム
ダウンロードサイト：
<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet-framework/net481>
- .NET Framework 4.8.1 以上 ランタイム 言語パック（日本語）
ダウンロードサイト：同上

1.2.2 .NET Framework のインストール確認

[レジストリ エディター]にて、インストールされていることをご確認ください。

表 1.2-1 必須プログラムインストール確認手順

手順	
1	 図 1.2.2-1 スタートメニュー スタートメニューを右クリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

2

図 1.2.2-2 ファイル名を指定して実行

「regedit」と入力し、[OK]をクリックします。

3

ユーザーアカウント制御の画面が表示されるため、[はい]をクリックします。

4

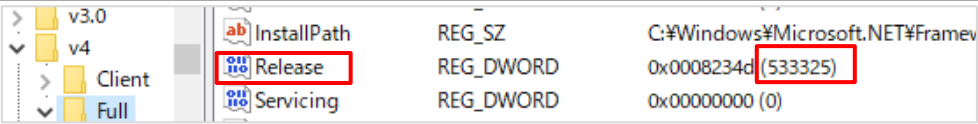
図 1.2.2-3 レジストリ エディター

レジストリ エディターの画面が表示されます。

5

図 1.2.2-4 対象フォルダ

以下のフォルダを開きます。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full

6	 図 1.2.2-5 バージョン番号 名前[Release]のデータの()内の値を確認します。これがバージョン番号です。
7	.NET Framework 4.8.1 のバージョン番号は以下の通りです。それ以上の値であることを確認します。 Windows 11 2022 Update: 533320 その他のすべての Windows オペレーティング システム: 533325

2. 管理者用の機能

2.1 個別情報設定ツール

「個別情報設定ツール」を利用することにより「ホッと LookPlus」のインストーラーのカスタマイズを行えます。

これにより、以下の機能をもつインストーラーを作成できます。

- デフォルトの設定値を設定する
- ユーザーによる設定変更を制限する（パスワードで制限解除）
- ユーザーによるアンインストールを制限する（パスワードで制限解除）

実行の前に、「[1.2 クライアント システム要件](#)」を満たしていることをご確認下さい。

表 2.1-1 個別情報設定ツール利用手順

	手順
1	「RewritePolicyInMsiStandalone.exe」をダブルクリックします。
2	ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合、[はい]をクリックします。
3	 図 2.1-1 個別情報設定ツール 個別情報設定ツールが起動します。画面の指示通り、実行ファイルと同じフォルダに「HotLookPlus」フォルダがあることを確認し、[次へ]をクリックします。

4

ホットLookPlus - 個別情報設定ツール

パスワード設定

デフォルトポリシー

内容確認

設定完了

パスワード設定

各種パスワードを登録します。

設定制限解除パスワード

1

アンインストールパスワード

2

3

次へ

図 2.1-2 パスワード設定画面

パスワード設定画面が表示されます。項目を入力して[次へ]をクリックします。

表 2.1-2 パスワード設定画面

NO	項目名	概要
1	設定制限解除パスワード	設定変更の制限を解除する際に指定するパスワードを入力します。
2	アンインストールパスワード	アンインストール時に指定するパスワードを入力します。
3	次へ	次の画面に進みます。

12

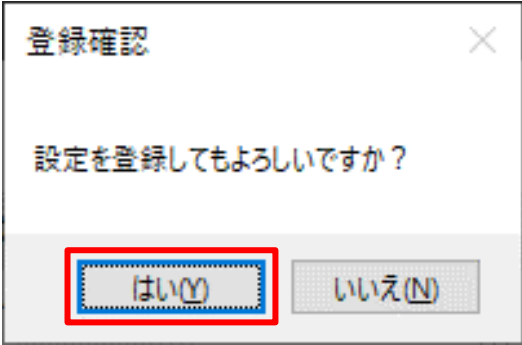
5

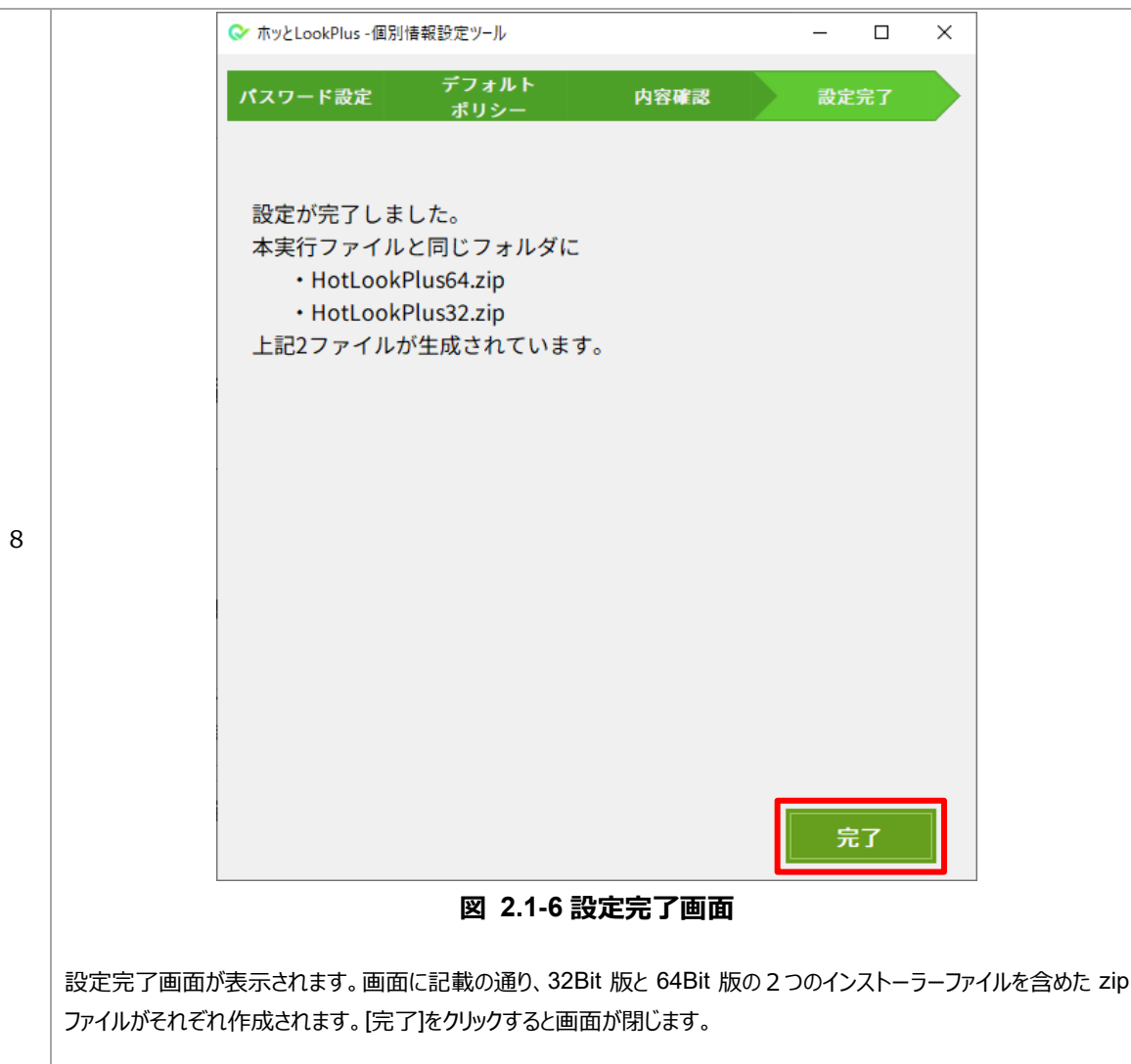
図 2.1-3 デフォルトポリシー設定画面

デフォルトポリシー設定画面が表示されます。項目を入力して[次へ]をクリックします。

表 2.1-3 デフォルトポリシー設定画面

NO	項目名	概要
1	ポリシーのデフォルト設定	デフォルトの設定値を設定します。設定内容に関しては、「エラー！参照元が見つかりません。エラー！参照元が見つかりません。」をご確認ください。
2	ユーザー変更許可	ONにした場合、ユーザーが自由に設定値を変更できます。OFFにした場合、「エラー！参照元が見つかりません。エラー！参照元が見つかりません。」を行わないと設定値を変更できません。
3	戻る	前の画面に戻ります。
4	次へ	次の画面に進みます。

6	 図 2.1-4 内容確認画面 内容確認画面が表示されます。内容を確認して、[次へ]をクリックします。
7	 図 2.1-5 登録確認ダイアログ 登録確認ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。



2.2 設定制限解除

「設定制限解除」については、「[4.8 設定制限解除](#)」をご参照ください。

2.3 アンインストール

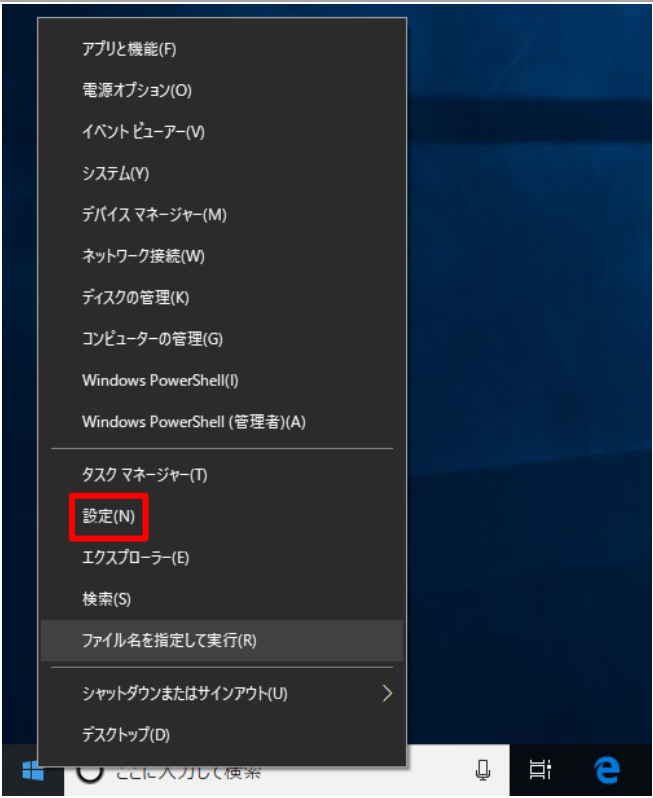
「ホッと LookPlus」のアンインストールの方法は、通常のアプリケーションと同様です。

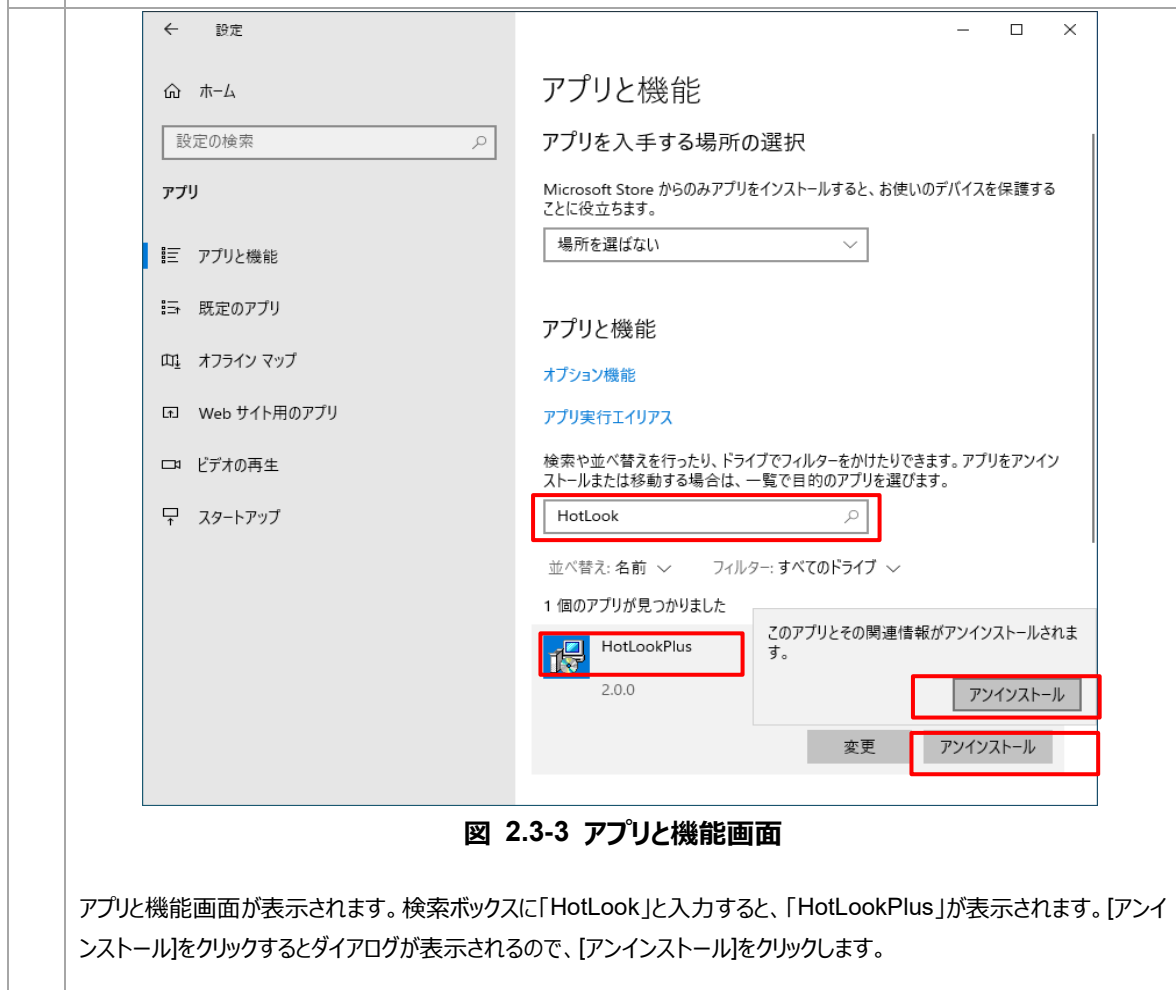
ただし、アンインストール時にパスワードが求められます。これにより、ユーザーによるアンインストールを制限しています。

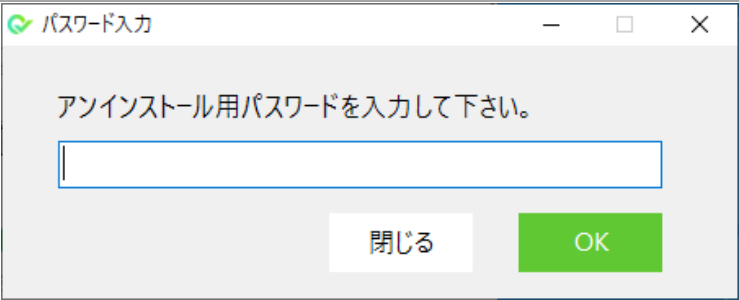
パスワードが必要な場合は、お客様管理者へお問い合わせください。

また、Ver 2.0.4 では、SCCM などの配布ツールにてサイレントアンインストールを行う場合を想定し、PowerShell（管理者で実行）からコマンドラインでアンインストールが行えるように対応しました。

表 2.3-1 アンインストール手順

手順	
1	 図 2.3-1 スタートメニュー スタートメニューを右クリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。



	手順
	 図 2.3-4 パスワード入力画面 アンインストール用パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し[OK]を押します。

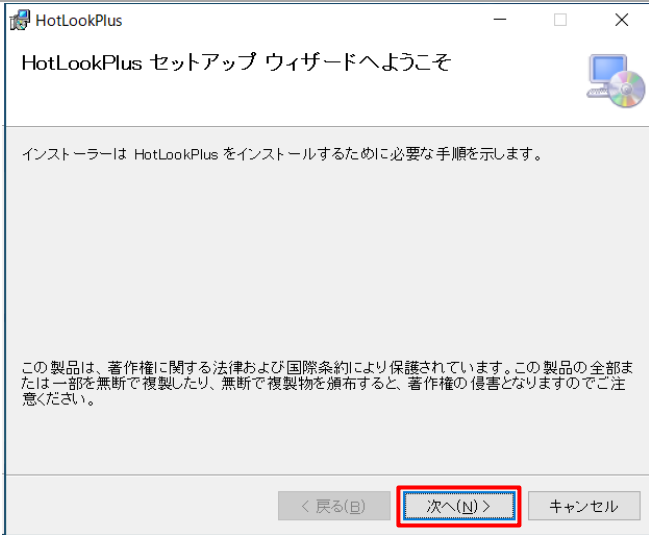
3. インストール手順

3.1 インストール

「ホッと LookPlus」のインストールを行います。

インストールの前に、「[1.2 クライアント システム要件](#)」を満たしていることをご確認ください。

表 3.1-1 インストール手順

	手順
1	Outlook が起動中の場合には、Outlook を終了してください。
2	ご利用の Outlook が 32bit 版の場合は「HotLookPlus32.msi」を、64bit 版の場合は「HotLookPlus64.msi」をダブルクリックします。 (Outlook のビット数は、Outlook のリボン[ファイル] – [Office アカウント] – [Outlook のバージョン情報] にて確認できます。)
3	 図 3.1-1 ようこそ画面 ようこそ画面が表示されることを確認し、[次へ]をクリックします。

	手順
4	図 3.1-2 インストールフォルダの選択 インストールフォルダを変更する場合には、[参照]をクリックしてフォルダを選択します。 表示されているフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。
5	図 3.1-3 インストールの確認 インストールの確認で[次へ]をクリックします。 ※[ユーザーアカウント制御]画面の表示、および資格情報を求められる場合があります。 その際は、[ユーザーアカウント制御]にて[はい]をクリック、および管理者アカウントのユーザー名/パスワードを入力します。

	手順
6	図 3.1-4 インストールの確認 インストールが完了後、[閉じる]をクリックします。 ※インストール時に SmartScreen が発生した場合は、[詳細情報]にて[実行]をクリックし、インストールを完了してください。 図 3.1-5 SmartScreen

3.2 起動

インストール手順を実施後、Outlook を起動し、「ホッと LookPlus」がインストールされていることを確認します。

表 3.2-1 起動手順

	手順
1	Outlook を起動します。
2	 図 3.2-1 SmartScreen 「ホッと LookPlus」タブが表示されていることを確認します。 [設定]をクリックし、設定を行います。 ※タブが表示されない場合は、「7.1 インストールは完了したが、アドインが表示されない」をご参照ください。

4. ホツと LookPlus の設定

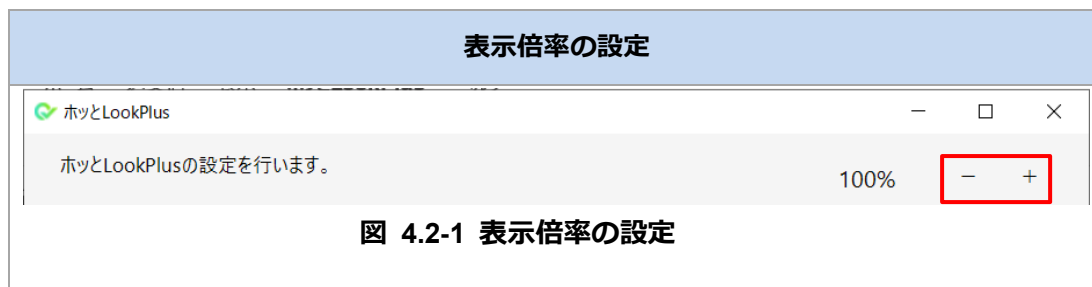
4.1 設定画面の表示方法

表 4.1-1 ホツと LookPlus 設定手順

手順	
1	 図 4.1-1 設定画面の表示方法 Outlook を起動し、「ホツと LookPlus」タブの[設定]をクリックします。
2	 図 4.1-2 設定画面の表示方法 設定画面が表示されます。

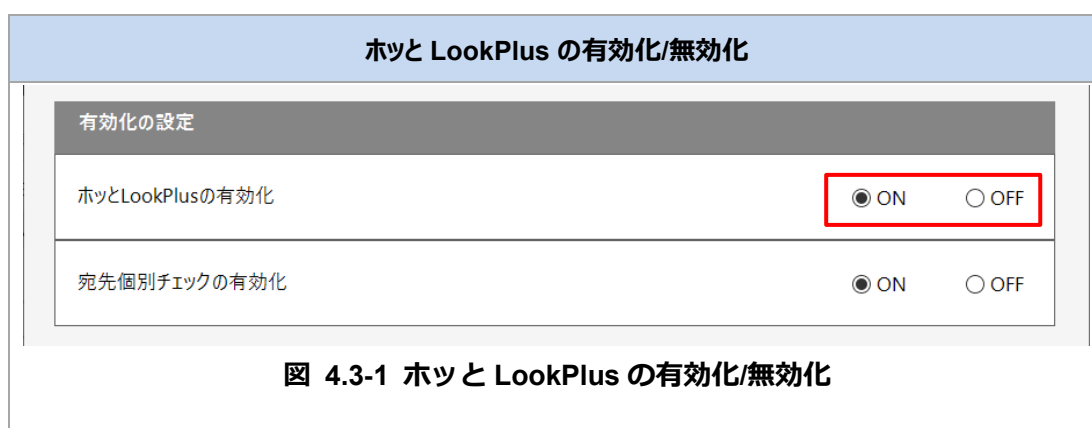
4.2 表示倍率の設定

画面右上の「-」「+」をクリックすることにより、表示倍率を変更できます。



4.3 ホツと LookPlus の有効化／無効化

ホツと LookPlus の有効化/無効化を切り替えることができます。



4.4 宛先個別チェックの有効化／無効化

宛先個別チェックの有効化/無効化を切り替えることができます。

宛先個別チェックが有効化されている場合、メール送信後に表示されるホツと LookPlus の宛先確認画面にて、送信先に指定した各宛先の宛先カードにチェックボックスを表示します。チェックボックスを一つ一つチェックすることで、アドレスの確認作業を徹底し、誤送信のリスクを軽減します。

表 4.4-1 宛先個別チェック設定手順

宛先個別チェックの有効化/無効化	
有効化の設定	
ホツとLookPlusの有効化	☒ ON ☐ OFF
宛先個別チェックの有効化	☒ ON ☐ OFF

図 4.4-1 宛先個別チェックの有効化/無効化

ホツとLookPlus

宛先に間違いがないか確認してください。 100%

TO	2件
☐	test1@hotlook.com test1@hotlook.com
☐	test2@hotlook.com test2@hotlook.com

図 4.4-2 宛先個別チェック有効化時の宛先確認画面

ホツとLookPlus

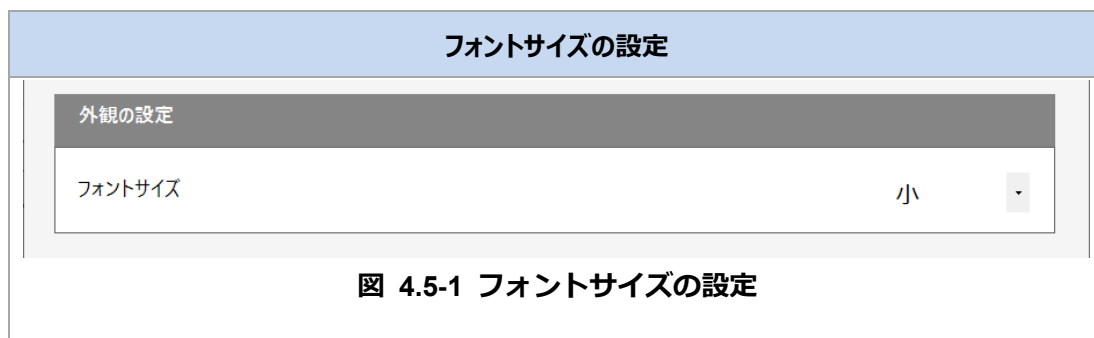
宛先に間違いがないか確認してください。 100%

TO	2件
	test1@hotlook.com test1@hotlook.com
	test2@hotlook.com test2@hotlook.com

図 4.4-3 宛先個別チェック無効化時の宛先確認画面

4.5 フォントサイズの設定

フォントサイズを変更することができます。この設定は、ホッと LookPlus のすべての画面に適用されます。



4.6 社内ドメインの設定

社内ドメインを設定することにより、社内ドメイン宛の宛先が強調表示されなくなります。
社内ドメインを設定は、下記の手順で行います。

表 4.6-1 社内ドメイン設定手順

手順	
1	宛先表示の設定 社内ドメイン設定 自動CC／BCC設定 設定画面の「社内ドメイン設定」をクリックします。

図 4.6-1 社内ドメイン設定画面への遷移

図 4.6-2 社内ドメインの設定

設定すると、社外ドメイン（＝社内ドメインに設定しなかったドメイン）の宛先のみが強調表示されます。

2

27

4.7 自動 CC／BCC 設定

自動 CC/BCC 設定をすることにより、送信時に自動で CC/BCC に特定の宛先を追加できます。
自動 CC／BCC の設定は、下記の手順で行います。

表 4.7-1 自動 CC／BCC 設定手順

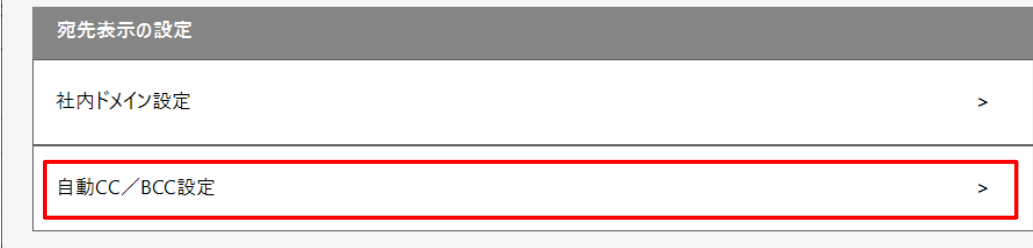
手順	
1	 図 4.7-1 自動 CC/BCC 設定画面への遷移 設定画面の「自動 CC/BCC 設定」をクリックします。
2	 図 4.7-2 自動 CC/BCC 設定画面 自動 CC/BCC 設定画面が表示されます。

表 4.7-2 自動 CC/BCC 設定画面

NO	項目名	概要
1	CC	メール送信時に、CC に自動で宛先を設定します。 複数の宛先を「;(セミコロン)」区切りで設定することができます。
2	BCC	メール送信時に、BCC に自動で宛先を設定します。 複数の宛先を「;(セミコロン)」区切りで設定することができます。

4.8 設定制限解除

「[2.1 個別情報設定ツール](#)」で「ユーザー変更許可」を OFF にした項目の設定を変更したい場合は、「設定制限解除」を実施する必要があります。

「設定制限解除」は、下記の手順で行います。

表 4.8-1 設定制限解除手順

手順	
1	

図 4.8-1 設定制限解除

設定画面の「設定制限解除」をクリックします。

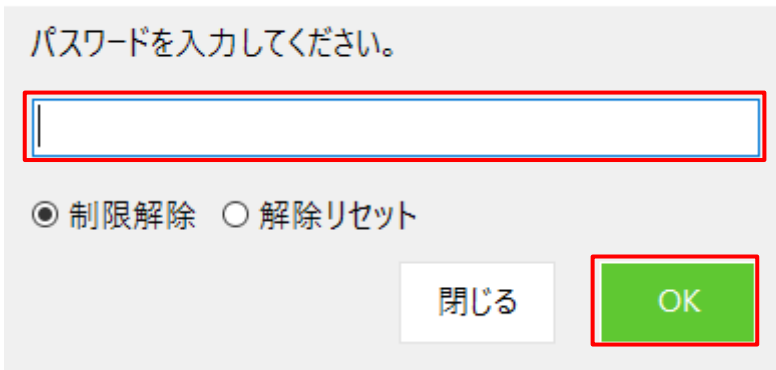
2	
---	--

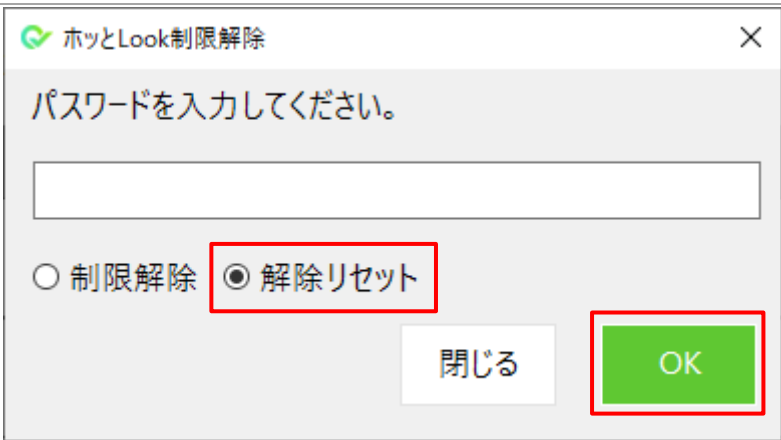
図 4.8-2 設定制限解除

「Hot & Look 制限解除」画面が表示されます。「[2.1 個別情報設定ツール](#)」で指定した「設定制限解放パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

4.9 設定制限解除のリセット

「[4.8 設定制限解除](#)」にて行った設定制限の解除は、設定画面を閉じるか [適用]を押下する、もしくは下記の手順でリセットすることができます。

表 4.9-1 設定制限解除リセット手順

	手順
1	 図 4.9-1 設定制限解除 設定画面の「設定制限解除」をクリックします。
2	 図 4.9-2 設定制限解除 「Hot & Look 制限解除」画面が表示されます。「解除リセット」を選択肢、[OK]をクリックします。

5. メール送信時の宛先確認

5.1 宛先の確認

ホッと LookPlus の機能を使ってメール送信時にどのような手順で宛先を確認していくのか、手順をご紹介します。

表 5.1-1 宛先確認手順

手順	
1	 図 5.1-1 宛先の確認 Outlook のメール送信画面にて、[送信]ボタンをクリックした後に、「ホッと LookPlus」の確認画面を表示します。

「ホッと LookPlus」の「宛先確認画面」が表示されます。宛先が正しいかどうかを確認します。

設定「宛先個別確認」が ON に設定されている場合には、各メールアドレスの横にチェックボックスが表示されます。全てのメールアドレスをチェックされた後に次画面へお進みください。

※ ホッと Look ポリシーにて「自動追加 CC/BCC」が設定されている場合には、設定されたメールアドレスが自動で追加されます。



図 5.1-2 設定制限解除



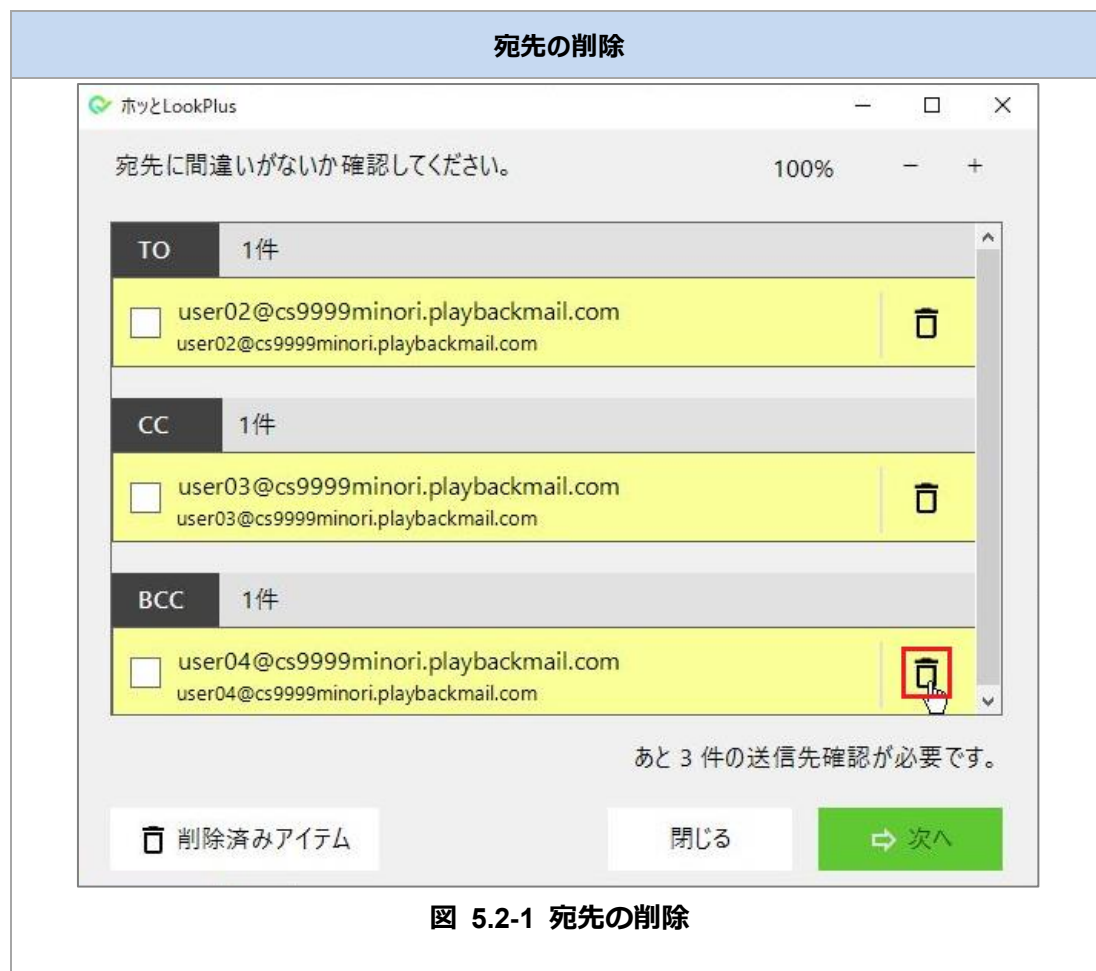
図 5.1-3 宛先確認画面（「宛先個別確認」ON）

表 5.1-2 宛先確認手順

NO	項目名	概要
1	表示倍率変更	「－」「＋」をクリックすることにより、表示倍率を変更できます。
2	TO（件数） CC（件数） BCC（件数）	Outlook のメール送信画面にて設定した宛先を表示します。 社内ドメイン設定を行っている場合、社内ドメインは白色で表示されます。それ以外は黄色で表示されます。 Outlook の連絡先に登録されている宛先を設定した場合は、氏名（[インターネット]-[表示名]）を表示します。 
3	宛先個別チェック	宛先が正しいことを確認したら、チェックボックスを ON にしてください。すべてのチェックボックスが ON になるまでは、次画面へ遷移することができません。 なお、設定画面で「宛先個別チェックの有効化」を OFF にしている場合にはチェックボックスは表示されません。この場合は無条件で次画面へ遷移することができます。
4	削除	宛先を削除します。
5	削除済みアイテム	削除済みアイテム画面に遷移します。
6	閉じる	Outlook 画面に戻ります。
7	次へ	最終確認画面に遷移します。

5.2 宛先の削除

もし送付したくない宛先が含まれていた場合には、[削除]ボタンを押下することで宛先から取り除くことができます。



5.3 宛先の復元

もし削除してしまった宛先を復元したい場合には、下記の手順を実行します。

表 5.3-1 宛先復元手順

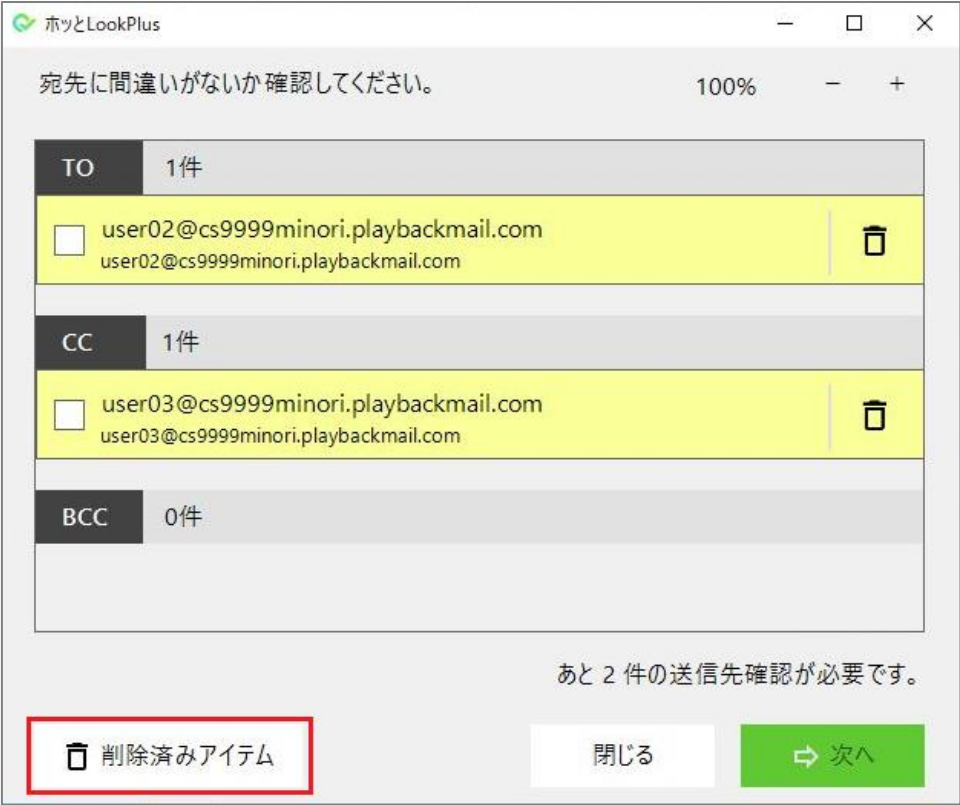
手順	
1	 The screenshot shows a window titled 'ホッとLookPlus'. At the top, it says '宛先に間違いがないか確認してください。' (Please confirm that there are no mistakes in the recipients.) and '100%'. Below this, there are three sections: 'TO 1件' with one email address 'user02@cs9999minori.playbackmail.com', 'CC 1件' with one email address 'user03@cs9999minori.playbackmail.com', and 'BCC 0件'. At the bottom, there is a red box around the button '削除済みアイテム' (Deleted Items), and other buttons '閉じる' (Close) and '次へ' (Next).

図 5.3-1 削除済みアイテム選択

[削除済みアイテム]ボタンを押下します。

手順

図 5.3-2 設定制限解除

「[5.2. 宛先の削除](#)」にて削除を行った宛先が表示されます。

[元に戻す]ボタン、もしくは[すべて元に戻す]ボタンを押下することで、削除した宛先を復元することが可能です。

表 5.3-2 削除済みアイテム画面

NO	項目名	概要
1	表示倍率変更	「－」「＋」をクリックすることにより、表示倍率を変更できます。
2	削除済みアイテム (件数)	削除した宛先を表示します。
3	元に戻す	対象の宛先を元の状態に戻します。
4	戻る	宛先確認画面に戻ります。
5	すべて元に戻す	削除されている全ての宛先を元の状態に戻します。

5.4 最終確認

「5.1. 宛先の確認」、「5.2. 宛先の削除」で設定した内容が表示されるので、内容を確認します。

宛先の確認

ホッとLookPlus

以下の内容でメール送信します。 100% 1 - +

2 宛先ドメイン ドメイン数：1 宛先数：3

3 添付ファイル

4 メールの差出人

5 件名

6 戻る 7 送信

図 5.4-1 最終確認

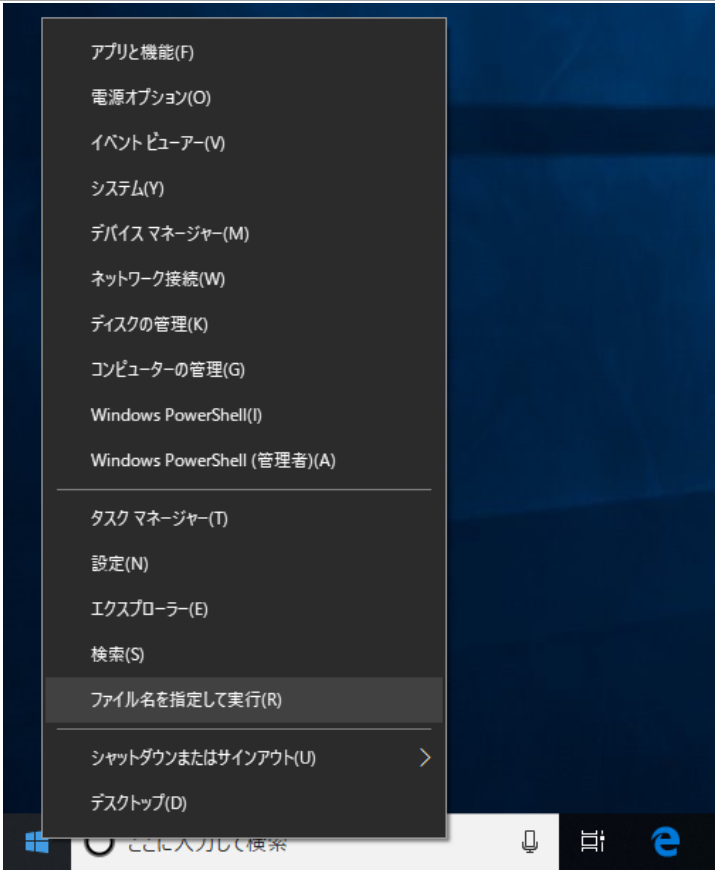
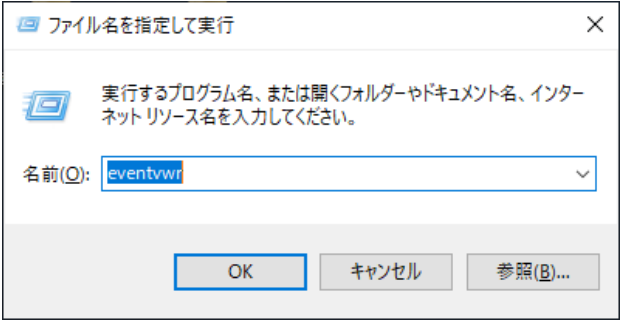
表 5.4-1 最終確認画面

NO	項目名	概要
1	表示倍率変更	「-」「+」をクリックすることにより、表示倍率を変更できます。
2	宛先ドメイン（会社）	宛先に指定されているドメインの一覧を、「ドメイン名(件数)」の形式で表示します。 内容を確認の上、チェックボックスにチェックを入れて下さい。 上部に下記の情報を表示します。 ・ドメイン数：指定しているドメインの総数を表示します。 ・宛先数：指定している宛先の総数を表示します。
3	添付ファイル	添付ファイルを表示します。ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルの内容を確認することができます。 ※ メッセージ等の Outlook で開く添付ファイルや、拡張子のないファイル、拡張子に関連付けられたアプリケーションが存在しない添付ファイルは開くことができません。 内容を確認の上、チェックボックスにチェックを入れて下さい。
4	メールの差出人	差出人のメールアドレスを表示します。
5	件名	件名を表示します。
6	戻る	宛先確認画面に戻ります。
7	送信	メールを送信します。 ※全項目にチェックボックスを入れるとクリックすることができます。

6. ログの確認

「ホッと LookPlus」が正常に動作しない場合は、イベントビューアからログを確認します。

表 5.4-1 ログの確認手順

	手順
1	 図 5.4-1 スタートメニュー スタートメニューを右クリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
2	 図 5.4-2 ファイル名を指定して実行 「eventvwr」と入力し、[OK]をクリックします。

手順

3

The screenshot shows the Windows Event Viewer interface. On the left, the 'Windows Logs' tree is expanded, and the 'Application' log is selected. The main pane displays a list of events from the 'Application' log, with 'HotLookPlus' as the source. The details pane for the selected event shows the message 'SMTP Search Order: ABCD'. The right-hand pane lists various actions available for the selected log and event.

レベル	日付と時刻	ソース	イベント
情報	2023/10/12 19:39:54	HotLookPlus	
情報	2023/10/12 19:39:54	HotLookPlus	
情報	2023/10/12 19:39:54	HotLookPlus	
情報	2023/10/12 14:25:11	HotLookPlus	
情報	2023/10/12 14:24:41	HotLookPlus	

イベント 0, HotLookPlus

全般 詳細

SMTP Search Order: ABCD

ログの名前(M): Application
ソース(S): HotLookPlus
イベント ID(E): 0
レベル(L): 情報
ユーザー(U): N/A
オペコード(O): 情報
詳細情報(D): [イベント ログのヘルプ](#)

ログの日付(D): 2023/10/12 19:39:54
タスクのカテゴリ(C): なし
キーワード(K): クラシック
コンピューター(B):

図 5.4-3 イベントビューア

[Windows ログ]の[Application]を選択し、ソース[HotLookPlus]の内容を確認します。

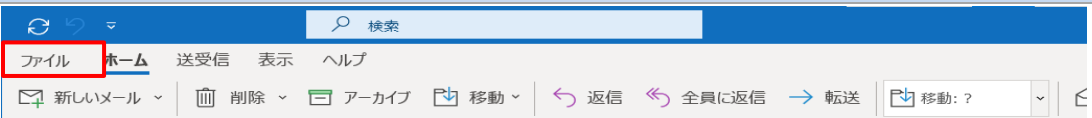
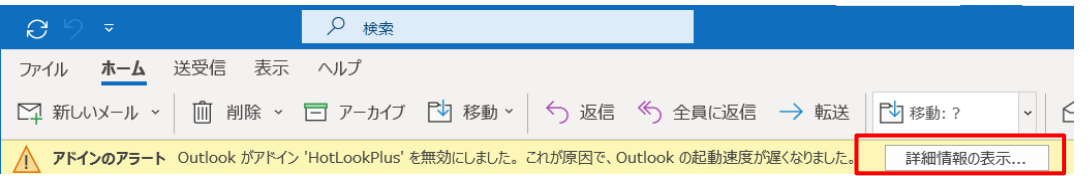
39

7. 困ったときには

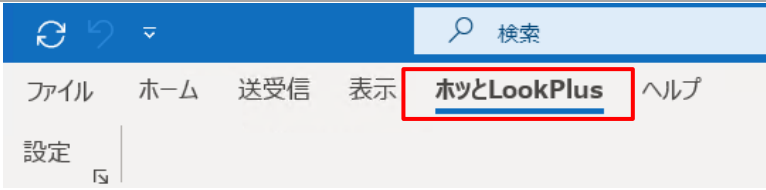
7.1 インストールは完了したが、アドインが表示されない

下記の手順にて、アドインの有効化を実施してください。

表 7.1-1 アドイン有効化手順

	手順
1	 図 7.1-1 ファイルタブ [ファイル]タブをクリックします。 ※下記の注意書きが表示される場合は、[詳細情報の表示]をクリックします。 手順 3 に移動してください。  図 7.1-2 アドインのアラート
2	 無効になった COM アドインの表示 Outlook の機能に影響を与える COM アドインを管理します。 図 7.1-3 COM アドインの管理 [COM アドインの管理]をクリックします。

	手順
3	図 7.1-4 アドインの有効化 [このアドインを常に有効にする]をクリックし、[適用]をクリックします。
4	図 7.1-5 アドインの監視を行わない [次の 30 日間このアドインの監視を行わない]をクリックし、[適用]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

	手順
5	 図 7.1-6 ホツと LookPlus タブ 「HotLookPlus」が有効化されているかご確認ください。 ※即時反映されない場合は、Outlook を再起動してください。